

# 平成30年度 公益財団法人 鹿沼市農業公社 事業報告

農業を取り巻く情勢は、TPP 参加国協定の発効や、EPA 協定締結による農産物への影響、国による米の生産調整の廃止や戸別所得補償制度の廃止など、国内外で諸課題が山積しています。また、去年は異常気象に伴う台風や集中豪雨により、全国各地で自然災害に見舞われ夏場には記録的な猛暑が続くなど、農家や農作物にとって厳しい環境の一年でした。

当農業公社においては、農作業の受委託や、農地中間管理事業を活用した担い手への農地の集積を推進していくとともに、いちご新規就農者である研修生の受入れや、親子農業体験学習の実施、狩猟免許取得に関する助成などの事業を展開してまいりました。

また、農地利用集積円滑化事業のもと農地の流動化推進を中心に据え、関係機関や団体との連携を密にして、効率的かつ安定的な農業経営が堅持できるよう、各種公益事業等に取り組みました。

以下、具体的な事業については、下記のとおり報告いたします。

## 1 理事会の開催状況

開催区分	開催日	開催内容
定時理事会	2月23日	・平成29年度 事業報告の承認について ・平成29年度 収支決算の承認について ・平成30年度 定時評議員会の招集について
臨時理事会	3月28日	・公益財団法人鹿沼市農業公社 職員給与規程等の一部改正について ・評議員選定委員の選任について
臨時理事会	4月1日	・監事の選任について ・公益財団法人鹿沼市農業公社 臨時評議員会の招集について
臨時理事会	6月18日	・評議員選定委員の選任について
臨時理事会	7月12日	・理事の選任について ・公益財団法人鹿沼市農業公社 臨時評議員会の招集について
臨時理事会	7月26日	・平成30年度 補正予算(案)について ・副理事長の選任について
定時理事会	12月13日	・平成30年度 補正予算(案)について ・平成31年度 事業計画(案)について ・平成31年度 収支予算(案)について ・資金調達及び設備投資の見込みについて ・公益財団法人鹿沼市農業公社 臨時評議員会の招集について
臨時理事会	12月26日	・公益財団法人鹿沼市農業公社 職員給与規程の一部改正について

## 2 評議員会の開催状況

開催区分	開催日	開催内容
定時評議員会	3月16日	・平成29年度 事業報告の承認について ・平成29年度 収支決算の承認について ・理事の選任について
臨時評議員会	4月1日	・監事の選任について
臨時評議員会	6月18日	・監事の選任について
臨時評議員会	7月18日	・理事の選任について
臨時評議員会	12月19日	・平成30年度 補正予算(案)について ・平成31年度 事業計画(案)について ・平成31年度 収支予算(案)について ・資金調達及び設備投資の見込みについて

## 3 各種事業の実施状況について

### (1) 農地流動化事業

#### ① 農地利用集積円滑化事業

区分	当初計画		実績		備考
地主	戸数	570戸	戸数	601戸	対比 105.4%
			筆数	1,947筆	
	面積	380ha	面積	406.8ha	対比 107.1%
担い手	戸数	80戸	戸数	77戸	対比 96.3%
			筆数	1,947筆	
	面積	380ha	面積	406.8ha	対比 107.1%

#### ・ 農地利用集積円滑化事業の新規契約

区分	実績			備考
地主	戸数	90戸	面積	56.3ha
担い手	戸数	12戸	面積	56.3ha



## ② 農地中間管理事業

- ・ 担い手への農地集積、集約化を推進し、地域の農地利用の最適化や規模拡大による農業経営の効率化を促進した。
- ・ 機構集積協力金交付事業  
下遠部地区 契約件数：16件、面積：13.0ha(76筆)
- ・ 機構による担い手への貸付  
下沢地区 契約件数：1件、面積：0.3ha(1筆)

## (2) 農作業受委託等推進事業

### ① 農作業支援制度確立のための管理再委託作業の実施

- ・ 農作業支援者の登録  
水田の水管理 48名  
畦畔の草刈作業 29名(うちグループ1団体)
- ・ 畦畔等の草刈委託希望農家に対し、登録者情報を随時提供した。
- ・ 現地で委託希望農家と農作業支援登録者との調整(畦畔面積、料金設定等)を実施した。
- ・ 草刈、水管理 実績：戸数 107戸、面積 78.2ha

### ② 農地相談会の開催

- ・ 農地の売買、賃貸借、農作業委託、耕作放棄地問題等、農地に関する総合的な相談会を農業公社において開催した。
- ・ 開催日：12月2日(日)
- ・ 相談員：9名(農業委員、市農政課、農業委員会事務局、農業公社)
- ・ 相談件数：14件  
(貸借・売却 10件、相続 2件、規模拡大 1件、耕作放棄地対策 1件)

## (3) 耕作放棄地対策事業

### ① 雑草駆除作業等の支援

- ・ 自己管理が困難な農家からの要望を受け、農業生産法人かぬまに委託して耕起や雑草駆除作業を行ない、農地の耕作放棄地化を未然に防止した。
- ・ 実績：件数 14件、面積 46.6ha

### ② 耕作放棄地の解消に関する事業の実施

- ・ 市農政課、農業委員会事務局と共に現地調査をおこない、農地の状態を確認し事業適用を検討するなど、「農地リニューアル事業」への協力を行なった。
- ・ 実績：件数 11件、面積 47.4ha

## (4) 新規就農者支援に関する事業

### ・ 市いちご新規就農者研修事業

市が「いちご市」を宣言したことを受け、平成29年から「鹿沼市いちご新規就農者支援対策協議会」の構成メンバーとして参画している。また、30年度は、新たな研修生の受け入れに伴い研修用いちごハウスを12棟増設するなど、新規就農者支援のための研修環境の整備に努めた。

## (5) 農業への理解促進と将来の担い手確保推進事業

### ① 親子農業体験学習事業

- ・ 市生涯学習課と連携し市内の小学生、及び保護者を対象に農業体験を通して農業への理解や、食への関心を高めた。
- ・ 参加者 : 17組 44名
- ・ 開催 : 5月19日(土) 枝豆・さつまいも・落花生・とうもろこし・かぼちゃ播種  
すいか苗植え・終了後にいちご狩り  
8月 4日(土) すいか・かぼちゃ・枝豆・とうもろこし収穫、除草  
ラジコンヘリ実演、すいか試食、トラクター試乗体験  
10月 6日(土) さつまいも、落花生収穫  
収穫祭(おにぎり、豚汁で食事会、ポップコーン試食)

### ② 鳥獣害対策事業

- ・ 近年、イノシシやシカ、サルなど野生鳥獣による農作物への被害が深刻な状況にあるため、農業生産法人かぬまに委託している農家等に対して注意喚起のチラシを配布した。
- ・ また、減少傾向にある狩猟免許取得者を確保するため、市林政課や猟友会と連携し、「鳥獣害対策による狩猟免許新規取得助成要綱」を制定した。それに基づき狩猟免許取得に要する経費の一部を助成した。
- ・ 補助対象者の地域と人数 : 粕尾地区 2名、北押原地区 1名

### ③ 麻の生産技術研究と普及啓発事業

- ・ 鹿沼市の伝統工芸作物である麻の栽培を継承していくため、公社自ら実践的な麻の栽培を通して生産技術向上のための研究を行なった。

## (6) 循環型社会形成に向けた地域環境保全を目的とする事業

- ・ 市環境部、月島機械(株)、日本下水道事業団、サンエコサーマル(株)との共同研究体とともに、「脱水乾燥システムによる下水汚泥の肥料化、燃料化技術」の自主研究として、乾燥汚泥肥料を用いた飼料用米の生育試験を行い、化学肥料使用圃との収量比較を行なった。

## (7) 機械施設のリース事業

- ・ 農業機械リース事業の実施

貸出先 : 有限会社 農業生産法人かぬま

貸出件数 : ・ 機械及び装置 36台

・ 車両及び運搬具 16台

・ 建物、施設、備品等 37件